

令和 2 年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち

施策 01 学校教育の充実

主管課：学校教育課

関係課：企画課、指導室、学校給食センター

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒	<p>学校生活を楽しく過ごし、心身ともに健康で人間性豊かな人に成長できるまちをつくる。</p> <p>社会の変化に対応した行動ができる子どもを育成する。</p>

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

学校が楽しいと思う児童の割合（小学生）				(%)	学校教育課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
92.70	93.80	95.70	96.00		95.00
向上指針	上がると良い				
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

学校が楽しいと思う生徒の割合（中学生）				(%)	学校教育課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
85.80	88.60	90.90	91.00		90.00
向上指針	上がると良い				
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,811,206	2,077,524	2,136,553	3,337,408	2,686,736
人件費	50,362	62,311	63,629	0	0
トータルコスト	1,861,568	2,139,835	2,200,182	3,337,408	2,686,736

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向			事 業 費					
				H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	
01 確かな学力の育成	横ばい	横ばい	横ばい		72,079	80,748	77,746	101,424	100,920
02 豊かな心を育む教育の推進	向上	低下			14,316	15,672	17,160	28,124	26,396
03 健康と体力を育む教育の推進	低下	低下	低下		494,363	511,043	507,785	560,004	548,972
04 時代の変化や国際化に対応できる教育の推進	向上	向上			251,245	265,388	265,626	331,226	359,979
05 開かれた学校づくりと学校・家庭・地域の連携	横ばい	横ばい			0	0	0	0	0
06 安全・安心な教育環境の整備	向上				693,842	881,824	1,096,635	2,106,873	1,503,640
99 施策の総合推進					285,361	322,849	171,601	209,757	146,829

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

守谷型カリキュラム・マネジメントにより児童生徒及び教職員にゆとりの時間が生まれ、学びの質の保障や働き方改革につながった。また、プログラミング教育を推進するため発達段階に応じたカリキュラムを作成し小中学校の連続した学びの実現に努めた。中央図書館と学校図書館の連携を深めるため、統括職員を配置し、読書・学習・情報の3機能が充実した学校図書館への転換を始めた。総合教育支援センターに「いじめ対策指導員」を配置し、いじめへの適切かつ迅速な対応を可能とした。児童生徒の安全安心を確保するため、モデル事業として高野地区まちづくり協議会と協働で「こども110番の家」の更新を進めた。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	維持
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

守谷型カリキュラム・マネジメントによる週3日の5時間授業で児童生徒の学びの充実と教職員の働き方改革を推進します。また、全国トップクラスのICT環境を活用してプログラミング教育を推進するとともに、児童生徒の自主的な学習活動を支援するため、中央図書館と連携し学校図書館の充実を図ります。 いじめ対策本部を設置し、総合教育支援センターと連携を図り、組織的な対応を充実させます。児童生徒の安全・安心の確保や教育活動の充実のため、まちづくり協議会等の地域と連携した防犯組織の構築や地域教育力の活用に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

守谷型カリキュラム・マネジメントを推進するとともに、教科担任制を導入し、専門性のある教員により授業の質を向上させます。また、大規模校と全中学校にALTを複数配置し、実用英語検定料の補助制度を導入することで、外国語教育の更なる推進を図ります。国のGIGAスクール構想に基づく1人1台の端末整備を早期に実現し、児童生徒の学びを保障できる環境を提供します。中央図書館と連携して、読書・学習・情報の3機能を備えた学校図書館への転換を促進します。総合教育支援センターに配置したいじめ対策指導員により、関係機関と連携し組織的にいじめ問題に対応します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加